

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己評価番号	出来ていない点・課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	・食事への準備や片づけ、掃除、洗濯たたみ等等、様々な生活場面で、個々の能力に応じ、利用者と職員が共に行動し、生活を共にするスタンスを大切にしている。 職員が主となってする場面が多く、利用者の主体性をより引き出せるような働きかけが課題	・生活の中での活動を誰がするか相談して分担し、主体的に取り組めるようになる。	・利用者と職員で、その日の盛り付けや食器拭き等、生活の中での活動を誰がするか相談して分担する。表に書くことで誰でも確認できるようにする。	12ヶ月
2	23	・日々の中で、意見や希望を聞くようにしたり、意思疎通の困難な方には、家族から意向を聞いたり、普段の言動を把握しながら、想いをくみ取るようにしている。 どういった暮らしがしたいか、日々の関わりや会話の中から引き出すように努めているが、より一層の取り組みが必要。	・一人ひとりの想いをもっと引き出し、どういった暮らしがしたいのかを利用者・家族・職員間で共有できる。	・どういった暮らしがしたいか、生活の目標となるようなことを、普段の関わりや家族との話から、引き出すよう意識し、ケアプラン・生活に反映させていく。	12ヶ月
3	54	・居室には、自宅で使っていた馴染みの物をできるだけ持って来て頂くことを、家族に相談している。また、各居室の担当職員が、整理の仕方を見直したり、居心地よく過ごせる空間づくりを模索している。 ・居室の掃除が行き届いていないことが課題。また、掃除が後回しになったり、職員が主に行うことが多い。	・利用者と職員と一緒にいながら、「自分の部屋は自分で掃除をする」という習慣が利用者に着着する。 ・利用者と共に行うことで後回しにならないようにする。	・上記の生活の中での活動の中に、今日の居室掃除は、どこかも利用者・職員で確認する。 ・可能なら居室利用者と一緒に行う。難しい方は、できる範囲で他の利用者の協力も得ながら行う。	12ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。